

ポストコロナのものづくり

主催 京都試作センター株式会社・京都府・(公財)京都産業21  
京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト推進協議会

# 新しいテクノロジー導入による ビジネス変革

## 世界動向、最新テクノロジー、事例のご紹介

コロナ禍において、デジタル化やグローバルなビジネス環境の変化は加速しています。新しいテクノロジーとレジリエント(変化に柔軟な)なビジネス戦略を身につけたテクノロジーベンチャーは、グローバル市場で急速に事業規模を拡大しています。

今後、日本の企業が不確実な環境化で持続的な成長を維持するためには、テクノロジーを活用したレジリエントなビジネスモデルへの変革は必要不可欠です。製造業のグローバルな動向、導入すべきテクノロジー、期待できる成果などを本セミナーで皆様にお伝えいたしまして、日本の製造業のビジネスの変革、拡大へのヒントとなることを期待しております。

### 『セミナー参加者特典』

希望社(先着30社)には  
出張デジタル化診断(無料)を実施

開催日時

2021 TUE  
**12.7**  
🕒 13:00-17:00

オンライン  
開催 **参加無料**

お問い合わせ

 **京都試作センター株式会社**  
TEL.075-316-2100 (担当:名高・小松)

〒600-8813  
京都市下京区中堂寺南町134番地  
京都リサーチパーク2号館2階

✉ [forum@sisaku.com](mailto:forum@sisaku.com)

## 「京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト」とは

2019年4月から、厚生労働省の「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、京都の主要産業であるものづくり産業、非正規率の高い観光関連産業、特に人手不足が深刻な建設業を対象として、産学公、公労使の「オール京都」体制のもとで、AI・IoT技術等を活用した生産性向上や就労環境改善に取り組み、質の高い安定的な雇用を創出することを目的として実施するものです。

『ポストコロナ コンバージェンスとビジネス変革』  
～加速度的なビジネス環境とテクノロジーの変化に対応するためには～

13:10～

基調講演

- コロナ禍におけるビジネス環境の変化とデジタル化による変革の成果
  - コンバージェンスとプラットフォームビジネス
  - グローバルな製造業の動向と新しい競争領域
  - オートデスクの製造業の取り組みと戦略
    - ・デザインから製造までのトータルソリューションによるビジネス最適化
- \*コンバージェンス:集合、融合、収束を意味する



オートデスク株式会社  
デジタルマニュファクチャリング  
アジア太平洋  
セールスディレクター

辻野 浩司

1984年に株式会社アークに入社後、主要自動車メーカー向け開発支援に従事し、常務執行役員として、国内～海外拠点における主要ポストを歴任。製品開発プロセスにおける設計から金型製作、プラスチック成型にいたるまで、幅広い経験と知識を持ち、多くの自動車メーカー、サプライヤーとの協業を経験。PTCジャパン社において、副社長としてCAD/CAM/CAE、PDM/PLMを多くの製造業のお客様に提案した経験も持つ。

『製造業におけるVR活用の可能性を探る』  
～ リモートワークにおけるVR活用 ～

14:10～

事例紹介①

withコロナ時代となり、リモートワークなど新たな働き方への変革が求められ、オンライン会議ツール等の導入が加速しました。  
しかし、製造現場では設計と生産のコミュニケーションや、工場生産の稼働状況の共有などで、多くの課題が残されています。その理由の一つは、3D空間と情報を紐づけたコミュニケーションが難しいからです。これを解決する手段としてVRが目立っています。  
本セッションでは、製造業で身近に使えるVRはどのようなものがあるか。VRの活用事例を交えて可能性を探ります。



応用技術株式会社  
事業戦略本部  
取締役 本部長

小西 貴裕

生まれも育ちも京都人。大学では建築構造学を専攻していたが、特技のプログラミング知識を活かしてIT業界への挑戦を決意。2002年に応用技術株式会社に入社し、CADを利用した自動作図システムや見積コンフィギュレータの開発に従事する。また、WEB技術の進化を見据えてWEBとCADの融合を目指し、2008年にWebブラウザ上で3D表示とレイアウト編集ができるソリューション「Web Layout Planner」をリリース。CAD技術がなくても簡単に操作できることから、住宅設備業界の営業シーンで多くの企業で導入される。その後、開発部長、事業企画室長を歴任し、2019年に事業戦略本部長に就任。現在は、製造業のデジタルマニュファクチャリングを支援するサービス「toDMG」を立ち上げし、モノづくりのDXに向けて3Dの付加価値を探索し続ける。

『設計と製造のコラボレーションによる生産性向上』  
～ データを軸とした設計から検査までの連携 ～

15:10～

事例紹介②

製造業において3DCAD・CAMを活用した三次元設計が主流となってきました。  
また、製造業にもDXの波が押し寄せ、単純に「設計の三次元化」「紙媒体からデータの共有へ」移行するだけでは、「トランスフォーム・変革が起きた」と実感できていない企業様も多いのではないのでしょうか？  
本セッションでは、クラウドベースのCADを軸として、共有されたデータをもとに設計から検査までをどのように設計と製造がコラボレーションするのが効率的かを次世代の設計手法であるGenerative DesignやハイエンドCAMの活用・自動化を例にとり説明します。



応用技術株式会社  
事業戦略本部  
toDMG推進マネージャー

永井 啓介

2018年まで小さなITベンダーの代表として、サラリーマン時代を含め二十数年ひたすら製造業に関連するプログラム開発に明け暮れていたが、広く役立つことがしたいと思うようになり、2018年応用技術に転職。  
2020年より、製造業向けにトータルで支援するサービスを提供するtoDMG事業の推進マネージャーに従事。メンバーと共にジェネレーティブデザイン/積層加工・切削加工について勉強しつつ、製造業のプロセスにこれまで培ってきたITの知見を融合することで、日本の製造業のDXを加速させることができるシステム・サービス作り尽力中。趣味は船釣り。京都生まれで京都を愛す。モットーは「人間の考えられることは必ずプログラミングすることが出来る」

質疑応答、ディスカッション

16:10～

お問い合わせ・お申し込み

参加費

無料

お問い合わせ

京都試作センター株式会社  
TEL.075-316-2100  
(担当:名高・小松)

申し込み方法

会社名・団体名・所属部署・役職・申込者氏名・所在地・TEL・Eメールアドレスを明記の上、右記Eメールよりお申し込み下さい。

Eメール

forum@sisaku.com